

神奈川県衛生研究所 学術講演会 水道におけるPFAS対策

日時 令和8年7月8日（水）14:00～16:00

会場 神奈川県衛生研究所 6階 大会議室
(神奈川県茅ヶ崎市下町屋1-3-1)

講師 国立研究開発法人 国立環境研究所
環境リスク・健康領域 水道水質研究和光分室
上級主幹研究員 小坂 浩司 先生

講演概要

2026年4月、代表的なPFASであるPFOSおよびPFOAの水質基準項目への格上げが施行された。要検討PFASの追加も行われた。国内の水道では、PFASの調査研究は2000年代から行われ、現在に至るまで基礎的知見が取得されてきた。それに加えて、2020年4月にPFOSおよびPFOAが水質管理目標に設定されて以降、知見や情報の集約、手引きやマニュアルの整備、実証的な試験等、規制を見据えた対応も行われている。また、PFASの問題は様々な分野に関連していることも多く、他部局や他機関との連携も進められている。

今回は、PFASの水源や浄水場での存在状況、浄水プロセスでの処理性、浄水処理によって発生する残渣の処理、他部局等との連携等、水道におけるPFAS対策の現状について紹介する。さらに、今後の課題について考察する。

※PFAS：ペルフルオロアルキル化合物 及び ポリフルオロアルキル化合物 の総称



*** 申込不要・参加自由です ***

アクセス

- JR茅ヶ崎駅 北口バスターミナルのりば3 神奈川中央交通バス
- ① 平塚駅北口行：今宿下車5分
 - ② 浜見平団地行：町屋下車8分



問合せ：神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課 TEL 0467-83-4400 (代表)